２　社　　会

１　編集の具体的方針

(1)　原典の内容はできる限り変更しないようにするが，盲児童の特性上，視覚的表現については，次のように修正し単元の目標が達成できるようにする。

①　盲児童が視覚的発見をもとに話し合いをするなどの内容の場合は，必要に応じて指導者による説明等に表現を変える。

②　「上（下）の～」や「右（左）の～」は，「○○ページの～」又は「次の～」などに修正する。

③　本文中に人物等のイラストが入った会話部分は，会話者の名前を挿入する。

④　本文又は資料中の「・○○○」等の箇条書きの記述は，「ア．○○○，イ，○○○，ウ．……」と符号を付す。

⑤　原典の中の本文は，なるべく途中で切らないことを原則とする。

(2)　写真，絵，図，年表の扱いは，次の方針による。

①　写真や絵，図を削除する場合は，それらに添えられたタイトルや説明文は可能な限り生かすが，文章表現上不自然になる部分は，適宜表現を変える。また，タイトルや説明文がない場合はタイトルを付け，必要な場合は説明文を追加したり，写真や絵，図の内容を読み変えて文章化する場合がある。

②　単元の学習上重要な絵や図は，可能な限り点図等に修正し，盲児童の理解を促す。

③　第６学年で扱う年表は，常時盲児童が活用できるように各巻末に学習を終えた時代までを掲載するようにする。

(3)　グラフの扱いは，次の方針による。

①　折れ線グラフは，ほぼ原典の形で生かすが，3 種類以上の線が交差する場合には，2 枚のグラフに分ける場合がある。

②　円グラフ，棒グラフ，帯グラフについて，盲児童が理解しやすいものは，原典どおりの形のグラフとするが，複雑なものについては，数表に修正する。

③　１枚に棒グラフと折れ線グラフが組み合わされている場合は，棒グラフを折れ線グラフに変えたり，一方の目盛りを下げて重なりあいを避けたりして，盲児童に読み取りやすいように修正する。

(4)　地図の扱いは，次の方針による。

①　地図中の地名等を略して示す場合は，できるだけ頭文字を用いる。

②　地図は内容により真空成形器による図か点図かにする。この場合，先に図の説明をし，次に図を示す。

③　凸図の技術的な問題や，触覚的理解度を踏まえて，図を簡略化したり，省略したりする場合がある。また，さらに複雑で，凸図で表現することが困難な地図は削除し，数表や文章に修正する。

④　地図中の縮尺表示については，地図の意図する位置関係に主眼を置くため省略する。

⑤　原典の地図が，ある狭い地域を示す場合，盲児童がその位置関係を理解する手がかりを得られるように，地図の範囲を拡大したり，全体の中での位置関係のつかみやすい図を追加することがある。

⑥　単元冒頭の県や国等の地図は，まとめて１ページに編集することがある。この場合，本文中の該当個所に「地図は○○ページにあります。」等の注意書きを挿入する。

2　編集の具体的内容

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　考
3・4上	2~5	絵	削除 修正	絵は削除し，情景を説明する一文を加え，会話文をまとめて載せた。	絵の内容については，必要に応じて指導者が説明するように配慮する。
	6，7	写真	削除	「花と緑のまち推進センター」,「小さなたき」,「商店街」の写真は削除した。	写真については，指導者が必要に応じて説明するように配慮する。
	8，9	写真 絵	削除	写真と絵は削除し,「しょうかいカード」の後に会話文をまとめて載せた。	写真については，指導者が必要に応じて説明するように配慮する。 白地図については，一般の地図に比べて土地の様子や地名などの記載が少なく，作業的な学習がしやすい地図であるということを指導者が説明する。指導に際しては，児童が学習しやすいものを用意する必要がある。
	10	絵地図	修正	絵は削除し,「たんけん計画」の三つのコースをそれぞれ点図化した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	11	写真	削除 修正	方位磁針の使い方については，写真は削除し，方位は点図化した。	盲児童に適した内容にした。
	12~17	写真 絵地図	削除 修正	写真は削除し，三つのコースのまとめを「たんけんのあとに整理した地図」として，それぞれ点図化した。	写真については，指導者が必要に応じて説明するように配慮する。
	18，19	絵地図	修正	絵地図は「まとめ直した地図」として次のように修正して，真空成形器で作成した。 ［凡例の中で,「いえ」のマークは家が多いところを,「みせ」のマークは店の多いところを,「みどり」のマークはみどりの多いところを表すことにする。］	真空成形器で作成した地図の導入として扱い，盲児童が触覚によって容易に把握できるようにした。また，絵地図に使われている地図記号については，点図で表した資料を補足し，指導の中で触れられるように配慮した。
	20	写真 ｶﾝｶﾞｴﾙ	削除 修正	写真は削除した。 「カンガエル」については「先生に高いところからながめたようすを聞いて,はじめて気づいたことがあれば,メモをして地図にはりましょう。」と修正した。	盲児童が地図と景色をくらべる活動では，聴覚など視覚以外の情報も使って比べることを促すように配慮する。
	21	1 資料	修正	「見くらべながら」を「くらべながら」に修正した。 「まなび方」の「絵地図」を「地図」に修正した。	盲児童に適した内容にした。
	22，23	写真 絵	削除 修正	写真と絵は削除した。「私たちの市のようすを高いところからたしかめながら」という一文を加え，絵の情景について説明した。	写真については，指導者が必要に応じて説明するように配慮する。
	24	資料	修正	「もちもの」にテープレコーダーを加えた。	盲児童に適した内容にした。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
3・4上	24~25	写真絵地図	削除修正	駅前でしらべたことの写真と絵は削除し,「なおとさんたちが駅前でしらべたこと」として文のみ載せた。 絵地図については，写真は削除し「なおとさんたちの小さなたびのコース」として点図化した。	触覚によって旅のコースが的確に把握できるようにした。
	26，27	地図	修正挿入	地図は「なおとさんたちの発表」として点図化し，会話文のあとに挿入した。	盲児童が触覚によって市全体が把握できるようにした。
		ｶﾝｶﾞｴﾙ	削除	「市の形をかく」は削除した。 八方位は点図化する。	盲児童に適した内容にした。
	28，29	地図写真	修正削除	地図は「わたしたちの市のおおまかなようす」として，4つの色分けを「田畑の多いところ」「みどりの多いところ」「たてものがあつまるにぎやかなところ」「工場が多いところ」と表して点図化した。	盲児童が市のおおまかなようすを触覚によって的確に把握できるようにした。
		まなび方	修正挿入	「まなび方コーナー」に「テープレコーダーで録音する」という一文を挿入した。	盲児童に適した内容にした。
	30，32 34，36	地図	削除修正	それぞれのページにある「わたしたちの学校」と「しらべたところ」の地図は「しらべたところ」として，P. 30の最初にまとめて示した。	盲児童が全体の位置関係を容易に把握できるようにした。
	30，31	2~4	修正	本文中の写真という表現を削除し「･･･地図でしらべました。地図でしらべて，･･･。」に修正した。	盲児童に適した内容にした。
		写真地図	削除修正	写真は削除し，地図は「田や畑の多いところ（市のいちばん西のあたり）」として点図化した。 「カンガエル」は削除した。	写真については，指導者が必要に応じて説明するように配慮する。
	32	1,2,3	削除修正	会話文の中の「写真」という言葉は「地図」に,「見る」という言葉は「調べる」という表現に置き換えた。	盲児童に適した内容にした。
		写真	削除修正挿入	写真は削除し,「三宮駅のまわりで見つけたこと」として写真の説明文を本文の後に挿入した。	写真を削除したため。
	33	地図	削除修正	地図は「たてものがあつまるにぎやかなところ（三宮駅のまわり）」として点図化した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	34	写真	削除修正挿入	鉄塔の写真は削除し,「いったい何だろう？工場とかんけいがあるのかな。」という会話文として本文に挿入した。	写真については，指導者が必要に応じて説明するように配慮する。
	35	地図写真	削除修正	写真は削除し，地図は「工場の多いところ（海ぞいの土地）」として点図化した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	36	写真	削除修正挿入	「みどりの多いところ」の写真は削除した。 川沿いの写真は削除し,「ー　川のそばを通っている道　ー　川のそばを通っている道が多いのは，なぜかな？」という文を会話文のあとに挿入した。	写真については，指導者が必要に応じて説明するように配慮する。 写真を削除したため。
	37	地図写真	削除修正	写真は削除し，地図は「みどりの多いところ（市の北の方)」として点図化した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるように
	38	まなび方	修正	「まなび方コーナー」の「市のくわしい地図を見ながら，高い所に色をぬる」を「市のくわしい地図を調べながら，高い所の表し方を工夫する。」に修正した。	盲児童が学習しやすい方法にした。
		地図	修正	「市のくわしい地図」は，次のように修正して真空成形器で作成した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにした。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
3・4上	38			・少し高い所，低い所をひとまとめにする。 ・鉄道は１種類の線にする。 ・道路や川は，簡略化して入れる。	
	39	地図	修正	４種類の土地利用の仕方と鉄道，トンネル，学校を表して「みさきさんのつくった地図」を点図化した。 「あきらさんの作品」は４つの発表内容がわかるように点図化した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	40，41	写真 絵地図	削除 修正	写真は削除した。「わたしたちのまちのはくぶつかん」の絵地図は，三つの博物館と新幹線，おもな鉄道に簡略化し，点図化した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	44，45	写真 絵	削除 修正	写真と絵は削除し，会話文のみまとめて載せた。	写真については，指導者が必要に応じて説明するように配慮する。
	46，47	ｶﾝｶﾞｴﾙ	削除 修正	写真と絵は削除し，次頁への学習につなげるために問題文を以下のように書き換えた。 次の人たちはスーパーマーケットのどんなところにいるのかな？ ア．売り場の案内をする人 イ．魚を切る人 ウ．カボチャを切る人 エ．ジュースをならべる人 オ．くだものをならべる人 カ．カートをかたづける人 キ．おかしをならべる人 ク．会計する人	盲児童が学習しやすい方法に改めた。
		絵	修正	「スーパーマーケットの中のようす」の絵を見取図にして点字化した。	盲児童に適した内容にした。
	49	ｶﾝｶﾞｴﾙ	削除 修正 挿入	写真と絵は削除し，P. 49 の最初に「店ではたらく人はこんな工夫をしています。」という文章を挿入して，その後に写真の説明文を載せた。	盲児童に適した内容にした。
	50，51	すごろく	修正	「これが牛乳を買うポイント！」は牛乳パックの正面図，側面図を点図化して，表示内容がわかるようにした。 すごろくは絵を削除し，数字と文章のみ点図化した。	盲児童に適した内容にした。
	53	ｸﾞﾗﾌ	修正	「しつもん①」は「しつもん１の答えをまとめてせいりしたグラフ」として点図化した。	盲児童に適した内容にした。
	54	絵	削除 修正	絵は削除し，それぞれの品物について説明文を載せた。	絵を削除したため。
	55	写真 絵地図	削除 修正	写真は削除した。 絵地図は「やさいやくだものはどこからはこばれてくるかな」として点図化した。点図に表される外国から来るくだもの等にはその国名も表示した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにした。 写真を削除したため。
	56，57	写真 絵	削除	写真と絵は削除した。	盲児童に適した内容にした。

学年	ページ	行	修正事項	修 正 内 容	備 考
3・4上	56，57	ｶﾝｶﾞｴﾙ	修正	写真は削除し，「お店ではこんなチラシをくばっているよ」を「お店でくばっているチラシには次のようなことが書かれているよ。」と修正し，写真のチラシの内容の例をいくつか挙げた。	写真を削除したため。
	58，59	写真 絵	削除 修正	写真と絵は削除した。 「エコマーク」「盲導犬同伴可を表すマーク」「車椅子マーク」については，説明文のあとに点図化したマークを載せた。	写真を削除したため。
	60，61	写真 絵	削除 修正	写真と絵は削除し，いろいろな店を種類別に説明した。	盲児童に適した内容にした。
	66	図	修正	「夏見さんの一年間の仕事」の図を点図化し，内容を「秋作」と「春作」の二つに分けた。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	67	図	修正	「晴れた日数（神戸市）」については，１日を表す印を使って点図化し，実際に日数を数えられるようにした。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	68	図	修正	「一年間につくるキャベツの数」の図は，１万個を表す印を使って点図化した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	71	絵	削除 修正 挿入	「なえを畑にうえた日・とり入れる日」を説明している絵は削除し，表にして「時期をずらしてうえるひみつ」の説明のあとに挿入した。	盲児童に適した内容にした。
		絵	削除 修正	「たくさんのきかいをつかうと？」の４つ機械の絵を削除し，説明の文を以下のように修正した。 たねまききき，トラクター，しゅうかく車，トラックをつかうことにより，少ない人，少ない時間で楽に作業ができるようになりました。しかし･･･	絵を削除したため。
	72	写真	削除 修正	「キャベツを切るほうちょう」の写真を削除し，ほうちょうの形を点図化し，本文のあとに挿入した。	写真を削除したため。
	73	図	削除 修正	絵は削除し，キャベツの送り先を矢印で表した。	盲児童に適した内容にした。
		絵	削除 修正	ＰＲポスターの絵は削除し，ポスターに書かれている文章のみを表した。	盲児童に適した内容にした。
	76，77	絵	削除 修正	工場での仕事のようすを表した絵は削除し，内容を文章と矢印で表した。	盲児童に適した内容にした。
		ｶﾝｶﾞｴﾙ	削除 修正	内容を「次の仕事はどこで行われていますか。」に修正し，写真の説明を載せた。	盲児が学習しやすい方法に改めた。
	78	写真	削除 修正	写真の説明「手をあらっているよ。」「ふくのほこりをとっているよ。」「エアーシャワーでもほこりをとるよ。」を会話文「みんな，せいけつなぼうしとふくにきがえているね。」の中に挿入した。	写真を削除したため。
		絵	削除 修正	「１日のおかしのせいさんりょう」の絵は削除し，一万枚を表す印をつかって点図化した。	絵を削除したため。
	79	写真 絵	削除 修正	「こんな工場もあったよ」の写真と絵は削除した。チョコレートができるまでは，１～５の順に流れを書いた。	盲児童に適した内容にした。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
3・4上	86，87	絵 写真	削除 修正	絵と写真は削除した。 「火事の知らせをうけてからかけつけるまで」は，絵の内容を文章で表した。	絵と写真は削除したため。
	91	写真	削除	「出動するまで」の写真は削除し，写真１，２の説明文を次のように文を付加して修正した。 １．仮眠室で消防服を脇において仮眠をとる。 ２．出動の知らせが入り，起きて消防服を着る。	写真を削除したため。
		写真 5	削除 挿入	「消ぼう車の点けん」「きゅうじょのくんれん」の写真は削除し，その写真の説明文を「消ぼうしょの安永さんの話」の文章中に挿入した。	写真を削除したため。
	92，93	写真	修正	「ポンプ車のしくみ」，「ぼう火ふくのひみつ」は，簡略化し点図化した。	盲児童が触知覚によって容易に把握できるようにした。
	94	写真 吹き出し カンガエル	削除 修正 挿入 修正	写真を削除し，「吹き出し」と「カンガエル」の文章中に，写真の内容や説明文を次のように挿入し修正した。 ぼくたちの学校に避難所の案内板がはってあるよ。 まちにでかけて「消火せん」「消火き」「ぼう火水そう」など，消ぼうしせつの目じるしをさがしましょう。	写真を削除したため。
	101	絵	削除 修正	絵は削除し，「交通事故が起きたら」という題を付け，事故が起きたときのしごとを文章で表現した。	絵は削除したため。
	105	絵	削除 修正	絵は削除し，「自転車がもどってくるまで」の流れを簡略化した流れ図で表した。	盲児童が学習しやすい内容にした。
3・4下	2，3	絵	削除	絵は削除し，会話文のみまとめて載せた。	絵の内容については，指導者が説明する等の配慮が必要である。
	5	絵	削除	絵は削除し表としてまとめて記述した。	盲児童に適した内容にした。
	6，7	写真	削除 修正	写真は削除し，「ごみステーションのかん板」は記載されている事項を箇条書きに表した。「収集車の写真」は，クイズにも答えやすいように簡略化して点図で表した。	盲児童が内容を理解しやすいようにした。また，盲児童が，触覚によって学習しやすいようにした。
	8	ｸﾞﾗﾌ	削除 修正	「市民１人が１年間に出すごみの量」のグラフは削除し，数表で表した。	盲児童が理解しやすい方法に改めた。
	10，11	図	修正 削除	「せいそう工場のしくみ」は簡略化して点図とした。また，「ごみ発電」の写真は削除し，その説明文は「せいそう工場のしくみ」の発電システムの中に取り込んだ。	盲児童に理解しやすいようにした。
	13	絵	修正 追加	「びん・かん・ペットボトルのリサイクルの流れ」の中にある絵は削除し，流れ図にした。また，図中の語句に次のように説明を付け加えた。 カレット－色別にガラスを小さく砕いて出来たもの。 地　　金－アルミを溶かして出来たもの。 ス ラ ブ－スチール（鉄）に熱を加えて溶かして出来たもの。 ペレット－ペットボトルを直径数ミリ程度のプラスチックの粒に砕いて出来たもの。	盲児童が理解しやすいようにした。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
3・4下	17	絵 写真	削除 修正	「エコタウン内のリサイクル工場や研究所」の絵と写真は削除し，次のように文章で表現した。 エコタウン内の響リサイクル団地には，ペットボトル，自転車，OA 機器，家電，医療用具，蛍光管などのリサイクル工場や研究所があります。	盲児童が理解しやすいようにした。
	18，19	絵	削除 修正	「ごみのしょ理のうつりかわり」，「買い物の昔と今」の絵は削除し，流れ図で表した。	絵を削除したため。
	22	地図	削除	福岡県の位置を示す地図は，４ページに掲載されているのでここでは削除し，福岡市の位置を示す地図の中に「福岡県の位置は○○ページにあります。」と記した。	指導者は盲児童に指示された箇所を検索するように指導する。
	23	写真	削除 修正	「田に水を引く三連水車」，「水をたくさん使うビール工場」の写真は削除し，次のように文章で表現した。 福岡県朝倉町には，田に水を引く三台の水車が連なった三連水車があります。また，福岡市には水をたくさん使うビール工場もあります。	写真を削除したため。
	24	写真	削除	「水の使用量を調べる」の写真は削除し，写真中にある黒板に貼ってある資料の情報は箇条書きにして取り入れた。	盲児童が学習しやすい方法にした。
	26	図	修正	水道メーターの絵は削除し，不必要なもの，小さすぎる目盛りなどは省略し点図化した。	指導者は，盲児童が水道メーターの全体的構造が分かるように点図をもとに指導することが望ましい。
	32	地図	修正	「水が来る道」は盲児童にも分かるように，筑後川以外の河川および県境を示す線は省略した。	盲児童が触覚的に容易に理解できるようにした。
	33	ｸﾞﾗﾌ	削除 修正	「福岡市に水をきょう給しているダム」のグラフを削除し，数表で表した。	盲児童が学習しやすいようにした。
		折込 地図	修正	「筑後川をさがそう」という目的の地図学習を進めやすいよう簡略化して点図化した。	盲児童が触覚的に理解しやすいようにした。
	37	地図	修正	「筑後川の水を飲み水に使っている地いき」の地図中にある市町村を示す区域は省略し，福岡県と佐賀県に大別して表示した。	盲児童が触覚的に理解しやすく，学習しやすいようにした。
	38	絵 写真	削除 修正	「じょう化センターのしくみ」を表した絵は，簡略化した流れ図として点図化した。	盲児の理解を容易にするため。
	40，41	絵	削除 修正	写真と絵で表現されている２ページにわたる図の写真と絵は削除し，「生活を支える電気とガスの流れ」とタイトルを付け，電気とガスの流れを簡略化して点図にした。	盲児の理解を容易にするため。
	44	写真	修正	「出てきた道具」の写真は削除して，文章化した。	「オ，冷蔵庫（氷冷式)」は，指導者が説明を付け加えるようにする。
	47	絵	修正	「朝倉さんが持ってきてくれた道具」の絵は削除して文章化した。	絵を削除したため。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
3・4下	48	絵	修正削除	「絵の中にどんな道具があるか,さがしてみましょう。」の絵は削除し，「昔の農家の台所の様子」という見出しにして，次のように文章化した。 「昔の農家の台所の様子」 土間には「かまど」,「釜」,「火吹き竹」,「鉄箸」が置かれ，流しのまわりには,「せいろ」,「ざる」,「水がめ」などが置かれています。板間には「鉄なべ」,「自在かぎ」,「消し壺」などの道具があります。外には,「つるべ井戸」,「水桶」もあります。子どもたちが「かご」に入ったそばの実を「石臼」でひく手伝いをしています。馬，鳥，猫などの動物が飼われています。昭和の初めの農家の様子が分かりやすく描かれています。 他に描かれている道具 「つけもの石」,「つけもの桶」,「米びつ」「せいろ」 「ひしゃく」,「水がめ」,「木鉢」「斧」 描かれている人物 おじいさん,おばあさん,おとうさん,おかあさん 男の子,女の子（二人） それぞれの道具が,どんな使われ方をしたのか考えてみましょう。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。
	54	まなび方コーナー	修正	「カードなどにまとめる」は，以下のように修正した。 １．道具や機械の名前をきちんと書く。 ２．だれに聞いて調べたかを明らかにする。 ３．どこで見たものかを明らかにする。 ４．使い方や特ちょうをなるべく詳しく書く。 （絵や図や写真を入れてまとめる方法もあります。）	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。 番号は，55 ページの「せんたくの道具の変化」に対応させた。
	60	絵	修正	「川を横切る用水」と題をつけ，点図化した。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにした。
	61	絵	修正	「川と用水の関係図」は点図化した。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにした。
	62~63	絵 写真	修正 削除	「大河原用水をさぐる」の絵は点図化した。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。
	64~65	地図	修正	「地図で発見」は標高を３段階に簡略化して真空成形器で作成した。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにした。
		絵	修正	「断面図」「尾根と谷」は点図化した。	
		ｶﾝｶﾞｴﾙ	修正	文章を次のように修正した。 例にならって，等高線を読み取って，作図してみましょう。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
3・4下	67	地図	修正	「養川が開いた主な用水」の地図は標高を 3 段階に簡略化して点図化した。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにした。
		絵	修正 削除	「用水工事の様子」の絵は削除し，「用水工事に使われた道具」として文章化した。	形状については，指導者が説明を付け加える。
	68	絵	修正	「米がとれる量の変化」は点図化した。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにした。
		地図	修正	「養川が開いた用水と田の広がり」は点図化した。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにした。
	72	写真	削除 挿入 修正	写真を削除し，本文を次のように修正した。 おさむさんが通う小千谷小学校には，昔の様子をふく元した振徳館という教室があります。	写真の説明文を本文に入れたため。
	80	まなび方コーナー	修正	「れきしマップをつくる」は以下のように修正した。 まなび方コーナーまとめる　れきしマップをつくる。 １．白地図に，目印になる駅や学校などの記号を書く ２．調べてきたことをあらわすマークを決める。 （例）ア，お祭り・・・● イ，古い道具のある所・・・■ ウ，文化ざい・・・▲ エ，古いもののある所・・・★ ３．記号やマークの意味を記しておく。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。
	81	絵	修正	「ふるさとれきしマップ」は点図化した。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。
	83	絵	修正	「さいたま市ししまいマップ」の絵地図は削除して，次のように文章化した。 ししまいのつたわっているところは，中釘，今羽町，田島，深作，南部領辻です。 中釘は，７月中じゅんに行われます。 深作は，８月下じゅんに行われます。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。
	86	8	修正	本文を次のように修正した。 「白地図を使って仙台市のまわりの市・町・村の名前を書けば，仙台市のまわりにどんなまちがあるか，よくわかると思うよ。」	盲児童が学習するのに適した内容，方法にするため。
	87	地図	修正	「宮城県の地せいず」は真空成形器で作成した。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにした。
		図	修正	「断面図」は点図化した。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにした。
		絵	修正	「宮城県の鳥かん図」は削除し，説明文を次のように修正した。 鳥が空から見たように，高い空から見下ろして土地の様子を表した図を「鳥かん図」といいます。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
3・4下		まなび方コーナー	修正	「地せい図の見方」は次のように修正した。 「調べる　地せい図の見方」 ア　地形の様子をあらわした地図を地せい図という。 イ　○○ページの「等高線の見方」とくらべてみよう。 ウ　実さいのきょりを，どれだけにちぢめたかをしめすのがしゅくしゃくです。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた
	89	地図	修正	「宮城県内の市町村」の地図は，仙台市以外の市町村名は省略し，その境だけを示した「宮城県内の市町村」の地図と，「仙台市のまわりの二つの市と八つの町」の名前を入れた２枚の地図を点図化して示した。	市町村名については指導者が説明を付け加える。
	90	カンガエル	修正	文章を次のように修正した。 「地形図を広げて，土地利用の様子と比べてみましょう」	盲児童に適した内容にした。
	91	地図	修正	「宮城県の土地利用図」は，集落，田・畑， その他（かじゅ園，ぼく場，森林そのほか）に分けて点図化した。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにした。
		カンガエル	修正	次のように修正した。 「県内の土地の様子を○○ページや○○ページの地図から次のことについて考えてみましょう。」 １．高い山がつらなっているところはどのあたりでしょう。 ２．平野が広がっているところはどのあたりでしょう。 ３．入り組んだ海岸はどのあたりでしょう。 また，その下の地図は削除した。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。
	92	カンガエル	修正	次のように修正した。 「乗ったことのある鉄道や通ったことのある道路を発表しましょう。」	盲児童に適した内容にした。
	93	地図	削除 修正	「空と海の交通のつながり」の地図は，地図を削除し，航空路を示す矢印と行先のみを示すように簡略化して点図化した。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。
	95	１	修正	本文を次のように修正した。 けんさんたちは，調べた地いきのくらしや産業を地図に表しました。	盲字度が学習するのに適した内容，方法に改めた。
	96	地図	修正	仙台市と気仙沼市の地図を，「これから学習する市や町の位置」として，仙台市，気仙沼市，白石市，米山町，蔵王町，雄勝町，登米町をまとめて示した。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。
	99	地図	修正	「気仙沼わん内のようしょくの様子」の地図は養殖されているものの場所を一括して示し，その内容を併記した。	地図の細部については指導者が説明を付け加える。
	103	地図	修正	「米山町の土地利用図」は簡略化し，「米山町の土地の様子」と題をつけて点図化した。	盲児童に適した内容にした。
	105	絵	修正	「高崎さんの家のまわりの様子」は点図化した。	指導者は説明を付け加える。
	106	地図	修正	「昔の川の様子」と「今の川の様子」の地図は，「昔の川の様子と今の川の様子」と題をつけ，点図化した。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
3・4下	107	絵	修正	「調べたことをまとめたホームページ」（米山町の家のひみつ）の中の絵は，点図化した。	指導者は，大雨の時の水位とその処理について説明を付け加える。
	111	地図	修正	「チャレンジ　５万分の１の地形図を読む」は次のように修正して点図化した。 「チャレンジ　地形図を読む　蔵王町七日原しゅうへんの地形図」と題をつけ，２枚の地図に分けて示した。	指導者は２枚の地図(点図)を比べさせることによって，示してある課題が解決できるようにする。 また，次の「調べたことをまとめたホームページ」（点図）も比べられるように配慮する。
		絵	修正	「調べたことをまとめたホームページ」は，点図化した。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにした。
	113	写真	削除 修正 挿入	「調べたことをまとめたホームページ」は写真を削除し，工程が分かるように番号をつけて示した。 最後に，こけしの点図を挿入した。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。
	115	絵地図	削除 修正	「宮城県内の主な伝とう的工芸品」の絵地図は削除し，文章化した。	それぞれの位置については，○○ﾍﾟｰｼﾞにまとめて示した地図を参考にすること。
	118	写真	削除 修正	「雄勝すずりのできるまで」の写真は削除し，番号をつけて文章化した。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。
	122	絵 地図	修正 削除	「調べたことをまとめたホームページ」（わたしたちの県）はイラストを削除して，点図化した。それぞれの位置や説明は記号化して示した。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。
	123	地図	修正 削除	「サズリナさんの大学に来ている学生の国の例」の地図は点図化した。マレーシアの国旗のみ点図化し，それ以外の国旗は削除した。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。
	124	地図	修正	「仙台市から出ている主な交通」の地図は点図化し，「高速バス平日１日あたりの便数」は文章化して併記した。	盲児童が学習するのに適した内容，方法に改めた。
	125	地図	修正	「宮城県内の工業団地の広がり」の地図は記号をつけて点図化した。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにした。
	127	地図	修正	「調べたことをまとめたホームページ」(水鳥を守れ！伊豆沼・内沼）の中の「国内のラムサールじょうやく登ろく地」の地図は記号をつけて点図化した。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにした。
	128	絵	修正 削除	「チャレンジ　姉妹都市・友好都市を調べよう」は文章化した。	削除されている内容については，指導者が説明を付け加える。
５上	4，5	絵 写真	修正 削除	日本地図を点図化し，各地の産物を表にした。	盲児童が学習しやすいようにするため。
	7	写真	削除	産地の地名が入った食料品の写真を削除した。	写真を削除したため実際にお店に行って食料品の産地調べを行うことが望ましい。

学年	ページ	行	修正事項	修 正 内 容	備 考
５上	9	地図	修正	地図を地方別の点図とし，矢印を削除した。 各地方のトン数は数表にした。	盲児童が学習しやすいようにするため。
	11	地図	修正	地図を簡略化して，真空成形器で作成した。	盲児童が，触覚によって学習しやすいようにするため。
	13	絵	修正	絵を簡略化して，点図化した。	盲児童が，触覚によって学習しやすいようにするため。
	14，15	写真 表	削除 修正	「１年間の稲の生長と米づくりの様子」の写真を削除し，月ごとの表にした。	写真については，必要に応じて指導者が説明するように配慮する。
	16	絵	修正	「用水路と排水路のしくみ」と「田にみぞをつくる」を点図化した。	盲児童が，触覚によって学習しやすいようにするため。
	17	地図	修正	「庄内平野の水路」の地図を「用水路を利用している地区」と「幹線水路」の二つに分け，点図化した。	内容が複雑なのでそれぞれの要素に分け，盲児童が学習しやすい表し方にした。
	19	絵	修正	「カントリーエレベーター」の絵を簡略化して，点図化した。	盲児童が学習しやすいようにするため。
		地図	修正 追加	「庄内平野の米が消費地にとどくまで」の地図を簡略化して，点図化した。	盲児童が学習しやすいようにするため。
	23	絵	修正 追加	「かつおまきあみ漁」と「かつおの一本づり」の絵を点図化し，まき網漁については上から見た図と，よこから見た図の２種類とした。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにするため。
		ﾏﾅﾋﾞ方 ｺｰﾅｰ	修正	文章の一部を次のように修正した。 「写真を読み取るときには，次の点に注意しながら先生の話を聞きましょう。」	盲児童の実態に即した内容に改めた。
	25	地図	修正	「おもな漁港の生産額」の地図を，「日本の近海の海流」と「日本の近海のおもな魚など」の二つに分けて点図化し，「おもな漁港の生産額」は「日本の近海の海流」の説明の中に入れた。	内容が複雑なので，それぞれの要素に分け，盲児童が学習しやすいようにした。
		ﾏﾅﾋﾞ方 ｺｰﾅｰ	修正	文章の一部を次のように修正した。 ○○ページの地図からどんな～	盲児童の実態に即した内容に改めた。
	26	地図	修正	「かつおの回遊するはん囲」の地図を，「若いかつおの回遊するはん囲，１年間を通じてかつおが回遊するはん囲，月」と「春から夏にかけての動き，秋から冬にかけての動き」の二つに分けて点図化した。	内容が複雑なので，それぞれの要素に分け，盲児童が学習しやすいようにした。
	28	ｸﾞﾗﾌ	修正	「漁業別の生産量の変化」のグラフを「沖合漁業・遠洋漁業」，「沿岸漁業・養しょく業」の二つに分け点図化した。	盲児童が学習しやすいようにするため。
	30	地図	修正	P30 桜島町，P32 指宿市，P34 垂水市をまとめて点図化した。	盲児童がそれぞれの市，町を的確に把握できるようにするため。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
５上	31	絵	修正	「いけすの様子」の絵を簡略化し，点図化した。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにするため。
	32	絵	修正	「水産技術開発センター」の絵を簡略化し，点図化した。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにするため。
	33	絵	修正	「まだいの資源管理」の絵を削除し，その内容を流れ図にした。	流れ図については必要に応じて指導者が説明するように配慮する。
	35	地図	修正	「かんぱちやぶりのおもな市場」の地図を簡略化して，点図化した。	盲児童が学習しやすいようにするため。
	36	地図	修正	P36 北海道別海町，P38 茨城県岩井市，P39 福島県福島盆地をまとめて点図化した。	盲児童がそれぞれの地域を的確に把握できるようにするため。
	36~37	絵	修正	「サイロのしくみ」の絵を簡略化して，点図化した。	盲児童が触覚によって容易に把握できるようにするため。
	37	絵	修正	「沢村さんのまとめ」の絵を簡略して，点図化した。	絵については，必要に応じて指導者が説明するように配慮する。
	41	ｸﾞﾗﾌ	修正	「食料自給率」のグラフを，「アメリカ，カナダ，フランス」と「イギリス，日本」の二つに分け点図化した。	盲児童が学習しやすいようにするため。
		ｶﾝｶﾞｴﾙ	修正	「自給のわりあいを予想してみよう」の３，の文章の一部を次のように修正した。 ○○ページのグラフの野菜と肉の [　　] の部分を予想してみる。	盲児童の実態に即した内容に改めた。
	45	ｸﾞﾗﾌ	修正	「世界の耕地面積と生産量の変化」を「世界の耕地面積の変化」と「世界の生産量の変化」の二つに分け点図化した。	盲児童が学習しやすいようにするため。
		地図	修正	「食料が不足している国や地域」の地図を，「非常に高い，やや高い，やや低い」と「低い，非常に低い，データなし」の二つに分けて簡略化し点図化した。	内容が複雑なので，それぞれの要素に分け，盲児童が学習しやすいようにした。
	50	絵	削除 修正	絵は削除し，製品名を列記した。そのうち携帯電話を点図で表した。	盲児童の実態に即した内容に改めた。また，盲児童にとっても身近な携帯電話を点図化することで学習への意欲につなげられるよう工夫した。
	51	絵	削除 修正	絵は削除し，原材料名および工業製品名を載せ，流れ図で示した。	盲児童の実態に即した内容に改めた。
	52，53	写真	削除	「自動車はん売店をたずねる」「ボンネットの中を調べる」の写真を削除した。	盲児童が車のボンネットの中にたくさんの部品があることを把握できるように，指導者は実物を触れて確かめさせるなど配慮する。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
５上	56，57	写真 絵	削除	写真と絵は削除し，それぞれ番号を付け説明文及び会話文で流れを示した。	写真の中の「指示書」については，指導者が補足説明するように配慮する。
		文		「教室でも工場見学ができるよ！」のパソコンで操作については，原文のままとした。	盲児童が実際にパソコンでＨＰを検索・閲覧する場合の操作方法については，必要に応じて補足説明する。
	58	絵	修正	「たくさんの部品がある自動車」の車の本体部分を横から見たところを点図化し，部品については項目を載せ，その部分を示した。	盲児童が触覚によって把握できるようにした。指導者は，盲児童が車の概念を的確に把握できるように実物に触れて確かめさせることが望ましい。
	60，61	写真	削除 修正	写真は削除し，説明文を生かし流れを文章化した。	「指示書」については写真の中に示されているので補足説明をする。
	61	写真	削除	「港から船で運ぶ」の写真を削除した。	写真の様子について補足説明する。
	62	ｸﾞﾗﾌ	修正	「アメリカに輸出された台数とアメリカで生産された台数の変化」を点図化した。棒グラフと折れ線グラフが重なる部分があるため，アメリカへ輸出した台数については，棒グラフを折れ線グラフに置き換えて表した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	63	写真	削除	「アメリカの工場で働く人たち」「テレビ会議での打ち合わせ」の写真を削除した。	写真の様子を補足説明する。
	65	絵	削除 修正	「ふつう車とハイブリッドカーのちがい」を文章化した。	盲児童の理解を容易にするため。
	66	絵	削除 修正	「ハイブリッドカーの走行で使われるエネルギー」を文章化した。	盲児童の理解を容易にするため。
	67	絵	削除 修正	「燃料電池車のしくみ」を流れ図で表した。車の輪郭は，削除した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	68	写真	削除 修正 追加	「車いすのまま乗れる自動車」のあとに次の説明文を追加した。 ［自動車にリフトがついており，車いすのまま乗ることができます。］ 「手だけで運転できる車」のあとに次の説明文を追加した。 ［ハンドルの左下にあるレバーでアクセルとブレーキを操作します。前に倒すとアクセル，手前に引くとブレーキになります。］ 「しょうとつに強い安全ボディー」のタイトルを「より安全な車の開発」に変え，次のように説明文の表現に生かした。 ［しょうとつに強い安全なボディーが開発されています。］	写真の主旨を生かすため。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
５上	68	写真	削除 修正 追加	「エアバッグ」のあとに次の説明文を追加した。 しょうとつのしょうげきから体を守るフロントエアバッグが運転席や助手席に，また，サイドエアバッグがドアに付けられた車もあります。	写真の主旨を生かすため。
	70	地図	修正	オキカエルの「地域と結ぶさまざまな工業」後に徳島県，千葉県，香川県を「これから学習する都道府県の位置」として日本地図にまとめて示し，簡略化した点図で表した。 また，県の中のそれぞれの市の位置については，別の地図で点図化した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	70，71	写真	削除	写真を削除した。	吉野川，鳴門の塩づくり(1950 年ごろ)，スポーツドリンクについて指導者は必要に応じて説明するように配慮する。
	72	写真 文	削除 修正	写真を削除し，説明文を一部修正した。 輸入された鉄鉱石や石炭は製鉄所内にある港に陸あげされます。 鉄板は，まるで紙のようにまきとられます。	盲児童の理解を容易にするため。
	75	写真	削除	写真とその説明文を削除した。	しぼりの技術例としてのＨ２ロケットの先端部分と消火器について補足説明をする。また，指導者は，盲児童に実際に消火器を触らせ，具体的な形を確かめさせることで「しぼりの技術」について理解を促すようにする。
	76	写真	削除 修正	写真を削除し，説明文を次のように修正した。 のりおさんたちがたずねた大田区の京浜島の工場は，うめ立て地にあります。	写真の主旨を生かすため。
	79	文		会話文の内容が主に視覚情報による３つについては，削除した。	工業製品マークについて扱っている本文は，知識として盲児童が学習する必要があるため，原文のままとした。しかし，盲児童が使用する地図帳では，工業製品のマークは扱っていないため，指導者は必要に応じて説明するよう配慮する。
	80	地図	修正 追加	地図にタイトルを付けた。 「おもな工業地域と工業地帯」，「工業生産額５０００億円以上の市町村」の２つに分けて点図化した。	内容が複雑なのでそれぞれの要素に分け，盲児童が学習しやすいように改めた。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
５上	80	ｸﾞﾗﾌ	削除 修正 追加	円柱グラフについては，「おもな工業地帯，工業地域の工業生産額」とタイトルを付け，概数で表した。	盲児童の理解を容易にするため。
		ｶﾝｶﾞｴﾙ	修正 追加	文を次のように修正した。 各工業地帯（地域）では，どんな工業がさかんでしょうか。○○ページの「主な工業地帯，工業地域の工業生産額」で調べてみましょう。	盲児童が使用する地図帳では，工業製品のマークは扱っていないため。
	81	まなび方コーナー	修正	一部文を修正した。 １．（原文のまま） ２．数字や矢印などを使って順序などをあらわす。 ３．大切なことは，囲みやその他の記号を使ってあらわす。 ４．イラスト，写真，グラフ，表，なども付け加えるとわかりやすい。 ５．（原文のまま）	盲児童の実態に即した内容に改めた。
	82	地図	修正	地図にタイトルを付けた。 「新幹線」「おもなＪＲ線」「高速自動車国道と工事中・計画中の道路」「おもな道路」の４つに分けて，簡略化して点図化した。	内容が複雑なのでそれぞれの要素に分け，盲児童が学習しやすいように改めた。
		写真	削除	「明石海峡大橋」「貨物ヤード」「東北新幹線」の写真を削除した。	指導者は，写真から読み取れる輸送方法について説明するよう配慮する。
	86	地図	修正	「成田空港と結ばれている国」の地図の矢印を削除して点図化した。国の位置に●をうち，国名を列記した。	盲児童が，理解しやすいようにした。
	88	写真	削除 追加	「発表するしんごさんたち」の写真を削除し，タイトルの後に次の説明文を追加した。 しんごさんたちは，工業製品のふるさと調べをして，黒板に工業製品とその生産地についてまとめました。 工業製品　…　生産地 ホッチキス　…　日本 セーター　…　中国 のり　…　ドイツ えん筆けずり　…　日本 下じき　…	写真の主旨を生かすため。
	89	絵	削除 修正	「教室の中の工業製品と原料の輸入先」の絵を削除し，教室の中の工業製品名を項目化した。そして，それぞれについて工業製品名→原料名→輸入先の１位から３位までの割合の順で表した。	盲児童の実態に即した内容に改めた。
	90	写真	削除	「横浜港で輸出を待つ自動車」「サズリナさん」の写真を削除した。	指導者は，写真の様子を補足説明する。
	91	写真	削除	「マレーシアにある日本の電気製品メーカーの工場」の写真を削除した。	指導者は，写真の様子を補足説明する。
		ｸﾞﾗﾌ	削除 修正	「日本の輸出相手国の変化」の円グラフを数表で表した。	円グラフの項目数が多く触察による区別が難しいため。

学年	ページ	行	修正事項	修 正 内 容	備 考
５上	92	写真図	削除	「日本の自動車工場」などの写真と図を削除した。	指導者は，写真および図について必要に応じて説明するよう配慮する。
		写真	削除 追加	「貿易の問題を伝える新聞記事」の写真を削除し，読み取ることが可能な大きな見出しを生かして次のように表した。 各社の記事の見出しには， 「貿易黒字大幅減」「中国　急増ダンピング調査対日９件中化学製品７件　新たな通商摩擦に？」等が，見られます。	写真の主旨を生かすため。
	93	地図	修正	「日本のおもな貿易相手国」の地図を，「日本のおもな貿易相手国」の地図と「日本の各国からの輸入と輸出の割合」の円グラフに分けて点図化した。 円グラフの点図は，世界地図は示さず，円グラフの位置でおおよそのその国の位置を表した。	内容を２つに分け，盲児童が触察により的確に把握できるようにした。
５下	8	ｶﾝｶﾞｴﾙ	削除	「カンガエル」の本文を削除した。	本文が写真の内容を前提としているため。
	9	ｶﾝｶﾞｴﾙ	削除	「カンガエル」の本文を削除した。	点字用の資料が無いため。
	12，13	写真絵	削除	写真に，「新聞社の情報をとどける工夫」と見出しを付け，経路を示す点図と説明文に分けた。	盲児童が学習しやすい示し方にした。
	17	修正		「カンガエル」の本文を次のように修正した。 ○ページの表を読み，あなたが気づいたことは何でしょう。みんなで発表してみましょう」	盲児童が学習しやすい示し方にした。
	18	写真	削除 修正	新聞記事の写真を削除し，大きな見出しを次のように文章化した。 各社の新聞記事の見出しには,「日本W杯初勝利」「王者フランス敗退」などがありました。	新聞記事の内容については，指導者が補足説明するよう配慮する。
		ｶﾝｶﾞｴﾙ	修正	「カンガエル」の本文を次のように修正した。 いくつかの新聞記事の見出しを先生に読んでもらい，そのちがいを考えてみよう。	点字用の資料が無いため。
	19	写真	削除 修正	新聞記事の写真を削除し,大きな見出しを文章化した。	新聞記事の内容については，指導者が補足説明するよう配慮する。
	21	絵	修正	「コンビニエンスストアの情報活用」の絵を，経路を示す点図と説明文に分けた。	盲児童が学習しやすい示し方にした。
		10	挿入	「コンビニエンスストア本部の松本さんの話」の文中，「ＡＴＭ」の後に次の文を挿入する。 （現金自動あずけばらい機）	写真を削除したため。
	22	6	削除	写真を削除し見出しを，会話文に挿入した。 ななこさん「[遠隔医療システムといって]，遠くはなれた・・」 のりおさん「けい帯電話で，［自動はん売機の］ジュース・・・」	写真を削除したため。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
５下	23	写真	削除	「コンピューターの事故によって混雑する東京国際空港」の写真は削除。	写真の内容については，指導者が補足説明するよう配慮する。
	25	空欄	削除 修正	空欄を削除し，「カンガエル」の本文を次のように修正した。 あなたも，情報を活用するうえで大切なことを話し合ってみましょう。	盲児童が学習しやすい示し方にした。
	29	写真	削除 修正	写真を削除し,パンフレットの見出しを示した。	写真を削除したため。
	30	ｶﾝｶﾞｴﾙ	修正	「カンガエル」の本文を次のように修正した。 地図帳を上下さかさまにしてみましょう。 どんな形になるでしょう。	盲児童が学習しやすい示し方にした。
	31	図	削除 修正	地球儀と地図を削除し，「地球上の位置の表し方」と題をつけ点図化した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにするため。
	32	地図	削除 修正	石垣島の地図を削除し，P34 の八重山列島の地図を点図化して，載せた。	点図化の地図をまとめるため。
		写真 文	削除	会話文の「花がいっぱいさいているね。」を削除した。	本文が写真の内容を前提としているため。
	33	ｸﾞﾗﾌ	削除 修正	「庄内と石垣市の月別平均気温」のグラフを「庄内の月別平均気温」と「石垣市の月別平均気温」の２枚の点図で表した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにするため。
		図	修正	図に「石垣島：気候とくらしのネットワーク図」と題をつけ，２枚の点図で表した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにするため。
	36，39	地図 写真	修正	P36 と P37 の地図と国旗を点図化した。 次のページに「沖縄県からアジアが見える」の題をつけ，次に「日本の中で沖縄はどんな役割を果たしているのでしょう」と記載した。その後 P36 の内容，次に P39 の内容を点訳した。	盲児童が学習しやすい示し方にした。
		地図	修正	「沖縄の軍用地」から，「国道 58 号」は削除し，点図化した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにするため。
	37，38	写真	修正	「北海道からアジアが見える」の題をつけ，次に，「北海道の人々は，どのような交流を進めてきたのでしょうか。」を記載した。その後 P37 の内容，次に P38 の内容を点訳した。	盲児童が学習しやすい示し方にした。
	40	写真	削除 修正	「タオルの冷とう実験」の写真を削除し，説明文を次のように修正した。 戸外で，ぬれたタオルを振り回していると，寒さでこおってしまいます。	写真を削除したため。
	43	1	修正	じゃがいも加工工場の説明文を次のように修正した。 十勝にある向上では，けい約農家で・・・	盲児童が学習しやすい示し方にした。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
５下	45	まなび方コーナー	削除 修正	まなび方コーナーの次の文を削除した。 「写真をひかくするときには→いつどこからさつえいしたかをたしかめる。」 「いろいろな話題を一つの年表やカレンダーの上に重ねて書いてみると，おもしろいことがわかります」 を次のように修正する。 「いろいろな話題を一つの年表やカレンダーにしてみると，おもしろいことがわかります」	盲児童が学習しやすい示し方にした。
	49~53	絵	削除 修正	P49 と P52 ～ P53 の鴨川を中心とした地図２枚を，１枚に点図化した。	点図化の地図をまとめるため。
	60	地図	修正	地図を「白神山地とぶな原生林」として真空成形器で作成した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにするため。
	65	絵 写真	削除 修正	絵や写真は削除し，次のように文章化した。 「木を使った製品」 木のいす，えんぴつ，バイオリン 「紙でできた製品」 トイレット・ペーパー，ノート，牛乳パック 奈良県にある法隆寺は，現存する世界最古の木造建築です。	絵や写真を削除したため。
	67	絵 写真	削除 修正	登録証の「トトロ」を点図化した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにするため。
	69	まなび方コーナー	削除 修正	「まなび方コーナー」の空欄を削除し，「下の□に書いてみよう。」を次のように修正した。 「ノートにかいてみよう。」	盲児童が学習しやすい示し方にした。
	70	ｸﾞﾗﾌ	修正	「二酸化炭素の増加」のグラフを，「世界全体と先進国」と「世界全体と開発途上国」のグラフの２つに分けて点図化した。	盲児童が触覚によって的確に把握できるようにするため。
６上	見開き	写真 図	削除 修正	写真は削除し，図と絵は目次を補足する内容に文章化した。	写真については，必要に応じて指導者が説明するように配慮する。
	2，3	写真 絵	削除	写真・絵は削除し，説明文と「吹き出し」を載せた。	写真や「吹き出し」の絵の情景については，必要に応じて指導者が補足説明するように配慮する。
	5	写真 絵	削除 修正	写真は削除し説明文を載せた。ラリーマップについては簡略化し，点図にして表した。	写真やラリーマップの主旨を生かし，盲児童が歴史に興味関心を持つようにするため。
	8	写真	削除 修正	写真は削除し，本文を次のように修正した 福岡県福岡市にある板付遺跡を空から見た写真です。板付遺跡は・・・	盲児童に適した表現とするため。

学年	ページ	行	修正 事項	修　正　内　容	備　　　考
6上		地図	修正	次の地域を，「歴史を伝える地域の位置」として点図化し，既習教科書の各巻末に資料として添付することにした。板付遺跡（P8）吉野ヶ里遺跡（P14），千曲市（P16），大和地方（P18），奈良（P22），平安京（P34），京都，鎌倉（P42），室町（P46），江戸，長篠，安土，大阪（P50），長崎，島原，天草（P67）	盲児童が触覚によってそれぞれの位置関係の概要を把握できるようにするため。
	9	写真	削除 修正	写真はすべて削除し，「遺跡から見つかった米」「木製のくわ」のタイトルについては，「水田のあと」の説明文の後に，「また，遺跡からは米や木製のくわが見つかっています。」と修正した。「弥生土器」の説明文では，「資料館には中央部分がふくらんだ形をしたものや，湯飲みのような形をした焼き物の器（土器）などがありました。このころ使われていた…そうです。」と表現を一部修正した。	写真を削除したため。指導者は，必要に応じて写真の補足説明するように配慮する。
	10，11	絵	削除 修正	「米づくりのむら」（板付遺跡をもとにした復元図）は削除し，絵の様子を次のように文章表現した。 「米づくりのむら」（板付遺跡をもとにした復元図） 復元図には，多くの人が協力しながら，春は木製のくわで土をおこし，種もみを直にまいて苗をつくり，代かきを終えた田んぼには田植えをしている様子が，夏は草取りをしている様子が，秋には石包丁を使って稲刈りをしてる様子が，冬には収穫したあとの田んぼに水をはっている様子がそれぞれ描かれています。	絵を削除したため。
	11	図	削除 修正	「１年の生活」については，縦軸に四季，横軸にかり，採集（山野），耕作，漁（川，湖，海）を整理して点図化して表した。	図を削除したため。
	14	絵	削除 修正	「吉野ヶ里遺跡」（復元図）については，真空成形器で作成した。	盲児童のイメージを広げるため。
	15	写真	削除 修正	写真，絵を削除し，それぞれ次のような説明文に修正した。 「吉野ヶ里と大陸との関係」 吉野ヶ里からは，巴形の銅器や鉄製の小刀，イモ貝でつくった女性のうで輪，かざりの管玉，銅剣などが出土しています。中国や朝鮮半島，沖縄などと広く取り引きしていたことがわかります。 「吉野ヶ里で発掘されたかめ棺」 発掘されたかめ棺の中には，矢じりがささったままの人骨もありましいた。	写真の主旨を生かすため。指導者は，必要に応じて補足説明するように配慮する。
	16，17	絵	削除 修正	絵は削除し，それぞれ次のような文章表現とした。 「千曲川市の古墳」 古墳は山をけずってつくられ，表面は石でおおわれていました。 「古墳にほうむられた人物」 古墳にほうむられた人物は，飾りを身につけて寝かされ，周りには銅の鏡や剣などが置かれていました。	絵を削除したため。指導者は，必要に応じて補足説明するように配慮する。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
６上	16，17	絵	削除 修正	「古墳を築いている様子」 ふもとから石やはにわを運び上げ，せまい尾根の上に大きな古墳を築き上げています。すべての人々の手によって行われています。	
		写真	削除 修正	「古墳からの出土品」 古墳からは，ひすい製の勾玉，管玉，鎌，土器，朝顔形のはにわ，つぼ形のはにわなどが出土しています。	写真を削除したため。指導者は，必要に応じて出土品の形などの補足説明をするように配慮する。
	18	写真 図	削除 修正	写真は削除し，大仙古墳の図は点図化して表し，説明文を載せた。	盲児童が触覚によって把握できるようにするため。
	19	写真 地図	削除 修正	写真を削除し，「全国のおもな前方後円墳」の分布については，点図化して表した。	盲児童が触覚によって把握できるようにするため。
	20，21	写真	削除 修正	写真は削除し，「復元された大きな建物」の説明文については，「三内丸山遺跡で見つかった穴などから復元された建物の柱の直径は１ｍもあります…。」と修正した。	盲児童に適した表現とするため。
	22	帯状年表	削除 修正	表現を一部修正した。 「これから学習する時代」の帯状年表は削除し，「これから学習する時代は，６世紀から１２世紀半ばごろまでです。」と文章表記した。以下各章ごとの帯状年表については，該当世紀に変えて同様の扱いとした。	帯状年表を削除したため。
	25	図 地図	削除 修正	「全国から集められた人や物資」の図は削除し，数値のみを記した。また地図は点図化して表した。	盲児童が学習しやすいようにするため。
	29	地図	修正	「都に運ばれてきた各地のおもな産物の地図は点図化し，産物については別表にして表した。	盲児童が学習しやすいようにするため。
		写真	削除	「木の荷札」の写真は削除し，荷札に書かれた文字と説明文はそのまま載せた。	写真を削除したため。
	30	写真	削除 修正	「東大寺の大仏殿」の写真は削除し，次のように文章表現した。 「東大寺の大仏殿」 大仏殿の昭和大修理を祝ったとき（1980 年 10 月）は，大勢の人が訪れました。大仏殿の周りには，白，赤，黄，緑，黒の五色の幕が張り巡らされ，屋根には金色のしびが輝いていました。	盲児童が学習しやすくするため。
		地図	修正	「たびたび移された都」の地図は，点図化して表した。	盲児童が触覚によって移された都の位置関係が把握できるようにするため。
	31	地図	修正	「国分寺」の地図は点図化して表した。	盲児童が触覚によって配置の様子が把握できるようにするため。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　考
６上	32	写真	削除 修正	「正倉院の宝物」の写真は削除し，次のような説明文とした。 「正倉院の宝物」 正倉院には，ガラスのコップ（高さ約 11 ｃｍ），びわ（長さ１ｍ，らくだに乗った人のもよう入り），碁盤などたくさんの宝物が納められています。	写真を削除したため。指導者は，必要に応じて宝物の特徴など補足説明するように配慮する。
	34，35	絵	削除 修正	「都の貴族のやしきの様子」の絵は削除し，次のように文章表現した。 貴族の屋敷の中央には寝殿があり，その屋敷の主人が生活し，また，客をもてなす場でした。寝殿の前の庭では，貴族たちがけまりをして楽しみました。	絵を削除したため。指導者は，必要に応じて絵の様子を補足説明するように配慮する。
	39	写真 地図	削除 修正	「源氏の軍の進路」の地図は，源氏と平氏の勢力範囲図と戦いの進路内容に分け，点図化して表した。	盲児童が触覚によって把握できるようにするため。
	40	絵	削除 修正	「武士のやかた」及び「武士のやかたの内部」の絵は削除し，それぞれ次のように文章表現した。「武士のならい」については，説明文のみを載せた。 「武士のやかた」 やたかの周りは,深い堀と垣根でかこまれています。門の上には物見やぐらがあります。やかたの中央には，主人が住む母屋があります。堀の外側では，武士たちが馬や弓矢のけいこをしています。 武士の日常生活は，武具の手入れも入れも大事な仕事の一つでした。 「武士のやかたの内部」 床のほとんどが板敷きで，武士団の長のいる部屋の板の間だけが畳敷きとなっています。みつぎものがやかたの主人に届けられています。家来たちが近くで刀や弓を手にして警護にあたっています。	絵を削除したため。指導者は，必要に応じて補足説明するように配慮する。
	42	模型	修正	「鎌倉」の復元模型を真空成形器で作成した。	盲児童が触覚によって地形の特色を把握できるようにするため。
		地図	修正	「鎌倉への道」の地図は，点図化して表した。	盲児童が触覚によって把握できるようにするため。
	44，45	写真	削除 修正	写真は削除し，「元との戦い」，「海上の戦い」，「守りに向かう武士たち」，「恩賞を求める武士」については，次のように文章表現した。 「元との戦い」 上陸した元の兵士に対し，鎧をつけ，馬に乗った日本の武士は，弓などで戦っています。元の兵士は，弓の他に見慣れない兵器を使っています。海上では，日本の武士が元の大船に小船で立ち向かっています。	写真の主旨を生かすため，指導者は，必要に応じて補足説明をするように配慮する。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
６上		写真	削除 修正	「守りに向かう武士たち」 戦いがおこると，武士は，一族や家来を引き連れて，幕府のために戦場へかけつけました。 「恩賞を求める武士」 戦いの活やくに対し，恩賞をもらえなかった武士たちは，幕府に恩賞を求めました。	
	50	絵	削除 修正	「長篠の戦い」の絵は削除し，次のように文章表現した。 「長篠の戦い」 長篠合戦図の左側には，織田信長と徳川家康の連合軍が描かれています。豊臣秀吉もいます。中央には馬防ぎのさくがあり，織田軍の鉄砲隊がまちかまえています。信長は，それまでの弓矢や刀を主とした戦い方を，鉄砲を大量に使う戦い方にかえました。右側には，武田軍の騎馬隊が描かれており，織田軍の鉄砲隊の発砲によって黒煙が上がり，武田軍の騎馬隊が倒れている様子が描かれています。」	絵を削除したため。
	56	絵	削除 修正	「検地の様子」の絵は削除し，次のように文章表現した。 検地の絵図には，田んぼのあぜに何人もの男たちが長い棒をもって立っています。棒と棒の間にはひもを張り，ものさしのようなもので測って，それを記録している様子が描かれています。検地とは，領地にどれぐらいの田畑があり，そこからの生産高がどれぐらいあるかを調査し，検地帳に記入していくことです。	絵を削除したため。この資料は「まなび方コーナー」とも関連するため，指導者は，必要に応じて絵の様子がわかるよう補足説明するよう配慮する。
	60，61	絵	削除 修正	「金沢藩（加賀藩）の参勤交代図」の絵は削除し，次のように文章表現した。 「金沢藩（加賀藩）の参勤交代図」 金沢藩（加賀藩）の参勤交代図によると次のような行列が続きました。 案内する村役人__足軽__やりをもつ足軽__馬に乗る侍__弓矢をかつぐ足軽__乗り替える馬を引く足軽__鉄砲を使った足軽__いろいろな道具を使った足軽__馬に乗る大名__供の侍__大名のかごをかつぐ足軽__弓矢をかつぐ足軽__水桶を運ぶ人・料理人・医者といった具合です。	絵を削除したため。盲児童が大名行列の様子をイメージできるように，指導者が必要に応じて補足説明をするように配慮する。
	61	地図	修正	「参勤交代にかかった日数」の地図は，「五街道とその他のおもな街道」と「参勤交代のおもな道すじと日数」の２つの内容に分けて点図化して表した。	盲児童が触覚によって的確に理解できるようにするため。
	62	地図	修正	「おもな大名の配置」の地図は，点図化して表し，石高については別表にして示した。	盲児童が学習しやすいようにするため。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
６上	見開き	写真	削除	「江戸図屏風」の写真は削除し，説明文のみを載せた。	盲児童に適した学習にするため。指導者は，必要に応じて補足説明するように配慮する。
	65	絵	削除	「百姓が負担するいろいろな税や役」の絵は削除し，次のように文章表現した。 「百姓が負担するいろいろな税や役」 農村の人々は，年貢の他にも道路を修理したり，てい防を築いたり，宿場応援などの労役や地域の特産物を税として納めていました。	絵を削除したため。
	71	地図	修正	「版画で印刷されて売られていた江戸時代の地図」は，簡略化しておよその輪郭を点図化して表した。	盲児童が，「伊能忠敬が作った日本地図」と比較しやすくするため。
	72	地図	移動	「京都，江戸，佐原」を示す地図は点図化して巻末に移動した。	本文の流れを尊重したため。
	73	写真	削除 修正	「伊能忠敬が測量に使った道具」の写真は削除し，道具名と説明文で表した。	道具の形などを補足説明するように配慮する。
	79	絵	削除 修正	「江戸のリサイクルを支えた人々」の絵は削除し，説明文をタイトルをつけて表した。	絵を削除したため。
	80	1~4	修正	「２枚の絵を比べてみよう」「左の絵」「右の絵」「２枚の絵」という表現については，それぞれ「２枚の絵の説明文を比べてみよう」「〇〇ページの説明文」「２枚の絵の説明文」と修正追加した。	絵を削除し，説明文に修正したため。
	80，81	絵	削除 修正	「江戸時代末ごろの日本橋近くの様子」「明治時代初めの日本橋近くの様子」の絵は削除し，次のようにその内容を比較できるように文章化した。 「江戸時代末ごろの日本橋近くの様子」 道の中央に，家来を従えた武士が馬に乗っています。右側には着物を着ている女の人やかごをかついでいる人がいます。武士たちは刀を腰にさし，ちょんまげを結っています。日本髪を結っている女の人もいます。通りの左右には店屋が長屋のように立ち並び，呉服店の看板が見えます。正面には富士山うっすら見えています。 「明治時代初めの日本橋近くの様子」 洋服を着て帽子をかぶった男の人や，長いスカートをはいてパラソルをさした女の人が歩いています。乗り合い馬車や人力車も走っています。旗を立てた洋館が見えます。道路にはガス灯が立っています。正面には富士山も見えています。	絵を削除したため。
	87	地図	修正	「自由民権運動の広がり」の地図上の数の表現については現在の都道府県別の数を表に示した。	盲児童が学習しやすいようにするため。
	92，93	絵図	削除 修正	「関税自主権がない」「治外法権をみとめている」の絵図については，文章化して表現した。	盲児童が学習しやすいようにするため。

<table>
<tr><th>学年</th><th>ページ</th><th>行</th><th>修正事項</th><th>修　正　内　容</th><th>備　　　考</th></tr>
<tr><td>６上</td><td>94</td><td>絵</td><td>削除
修正</td><td>「朝鮮をめぐる，日本，ロシア，中国」の絵を削除して，次のように文章化して表現した。
フランス人が皮肉をこめてかいた当時のまんががあります。朝鮮を魚にたとえ，日本人と中国人がその魚を釣ろうとしています。それを橋の上からロシア人が見ている漫画です。
当時の日本やヨーロッパ諸国が朝鮮をさげすんで見ていたことがわかります。</td><td>盲児童が絵の内容を把握しやすいようにするため。</td></tr>
<tr><td></td><td>101</td><td>写真</td><td>削除
修正</td><td>写真を削除し，「資料館の展示品」とタイトルをつけ項目として表現した。</td><td>写真を削除したため。</td></tr>
<tr><td></td><td>106</td><td>写真</td><td>削除
修正</td><td>「国民は総決起せよ」のポスターと「ぜいたくはできないはずだ」の写真を削除し，「戦争中の標語」の資料の中に追加した。</td><td>写真を削除したため。</td></tr>
<tr><td></td><td>107</td><td>写真</td><td>削除
修正</td><td>写真を削除したため，「戦争中のくらし」とタイトルをつけて，次のように文章化して表現した。

「戦争中のくらし」

ア．学校も工場になりました。
イ．疎開した子どもたちもいました。
ウ．学校でも戦争の訓練をしました。
エ．米も切符制になり，割り当てられました。</td><td>写真を削除したため。</td></tr>
<tr><td></td><td>112~
113</td><td>本文
課題
写真</td><td>削除
修正</td><td>写真を削除し，「１０．新しい日本…」の課題については次のように修正した。
「太平洋戦争に出陣する大学生を送り出す集会」「アジアで初めて開かれた東京オリンピックの開会式の２枚の写真があります。これについて，先生に説明していただき，その違いを考えてみましょう。</td><td>写真を削除したため，写真については適宜補足説明をする。</td></tr>
<tr><td></td><td>112</td><td>折り込み年表</td><td>削除</td><td>「戦後の日本の歩み」の折り込み年表を削除した。</td><td>年表の作成については盲児が巻末の年表を参考にするように説明する。</td></tr>
<tr><td></td><td>115</td><td>絵</td><td>削除
修正</td><td>「戦後の新しい改革」の絵については削除し，項目として表現した。</td><td>絵を削除したため。</td></tr>
<tr><td></td><td>118</td><td>写真</td><td>削除
修正</td><td>「東京オリンピックでの活やく」の写真については削除し，項目として表現した。</td><td>写真を削除したため。</td></tr>
<tr><td></td><td>120</td><td>写真</td><td>削除
修正</td><td>写真を削除し，「日本の若い人たちは・・・」の後に項目として表現した。</td><td>写真を削除したため。</td></tr>
<tr><td></td><td>121~
122</td><td>写真</td><td>削除
修正</td><td>写真については削除し，それぞれタイトルをつけて，表現した。</td><td>写真を削除し，盲児に学習しやすくするため。</td></tr>
<tr><td></td><td>123</td><td>写真</td><td>削除</td><td>写真，吹き出しについては削除した。</td><td>次ページの「自分史＆社会の動き」の中で表現しているため。</td></tr>
</table>

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
６上	124	表	修正	「激動の１２」の表については，年代を先にし，５マス目から社会史，９マス目から自分史と表現を入れ替えた。	盲児が学習しやすいようにするため。
６下	見開き	写真 地図	削除 修正	写真を削除し，図と絵は目次を補足する内容に文章化した。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。
	3	写真 図	削除 修正	写真を削除し，写真の説明を文章化した。「消費税が“公共”にとどくまで」の図は一部修正し，点図化した。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	4	写真 地図	削除 修正	「市川市」の位置を示す日本地図は点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	5	写真	削除	写真を削除し，写真の説明を整理した。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。
	6，7	写真 図	削除 修正	写真を削除し，写真の説明を文章化した。「生涯学習センターをたずねる」の図は一部修正し，点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	8	図	修正	「生涯学習センターが建設されるまで」の図は一部修正し，点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	9	写真 図	削除 修正	写真を削除し，写真の説明を文章化した。「市民が親しめる場所としてほしいと願う場所」の図は一部修正し，点図化した。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。
	10	写真 図	削除 修正	写真を削除し，「広報いちかわ」「同市議会だより」はタイトルのみ文章化した。「住民と地方自治の流れ」の図は一部修正し，点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	11	図	修正	「税金に関する」２つの図は一部修正し，点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	12	写真 図	削除 修正	写真を削除し，写真の説明を文章化した。「国会（内閣と国民の）の働き」の図は一部修正し，点図化した。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	13	写真 図	削除 修正	「選挙の投票率」の図は点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	15	写真 図	削除 修正	写真を削除し，写真の説明を文章化した。「災害から人々を守る政治の働き」の図は一部修正し，点図化した。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	16	写真 図	削除 修正	「東松山市」の地図は点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。

学年	ページ	行	修正事項	修 正 内 容	備 考
６下	19	写真図	削除修正	「東松山市の福祉の仕事」「日本国憲法の考え」の図は一部修正し，点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	20	絵図	削除修正	「赤ちゃんからお年寄りまで」の図は削除し，文章化した。	絵については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。
	21	絵	削除修正	「国民の権利」と「国民の義務」の内容を図表にした。	児童童の理解を容易にするため。
	22	図	修正	「豊かな暮らしを実現する」の図は一部修正し，点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	23	写真図	削除修正	「国民主権」の図は一部修正し，点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	26~27	写真地図	削除修正	「『平和学習の街ヒロシマ』をたずねて」の写真を削除し，先生が写真を説明するような内容に修正した。また,「原子爆弾による建物の被害と，小学校のある場所」の地図は,「焼けつきた地域」と「全部こわれた地域」をひとまとめにし,「半分こわれた地域」との２枚にわけて示した。	写真の主旨を生かすため。児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	28	写真	削除修正	写真を削除し，説明文のみをつけた。「点字にふれてみよう！」は点字の五十音のみとした。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。
	32	写真	削除修正	写真を削除し，説明文のみをつけ た。写真の説明文を整理する内容に文章化した。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。
	34，35	絵	修正	「時計」の絵は一部修正し，点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	36	写真図	削除修正	写真を削除した。「日本とアメリカの貿易」は数表化した。「日本のおもな輸出相手国」と「日本のおもな輸入相手国」の図は一部修正し，点図化した。	児童の理解を容易にするため。 児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	37	写真地図	削除修正	写真を削除した。地図は一部修正し，点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	38	地図	修正	「日本と韓国の位置」を点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	39	写真地図	削除修正	「朝鮮半島と九州地方の地図」を示した。地図は簡略にするとともに，点図化した。	児童が触覚によって朝鮮半島と日本の位置を的確に把握できるようにした。
	40，41	写真地図	削除修正	写真を削除し，写真の説明を文章化した。	児童の理解を容易にするため。
	42	写真地図	削除修正	写真を削除し，説明文のみをつけ た。「日本とサウジアラビアの位置」の地図は点図化した。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。

学年	ページ	行	修正事項	修　正　内　容	備　　　考
６下	43	写真 図	削除 修正	「日本が石油を輸入している国」の図は一部修正し，点図化した。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	44	写真 地図 絵	削除 修正 修正	「日本の中国の位置」の地図は点図化した。「中国から伝わってきたもの」は品目を列記した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	45	写真	削除 修正	写真を削除し，写真の説明を文章化した。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。
	47	写真 地図	削除 修正	「ＥＵの加盟国」の地図は一部修正し，点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	50	写真 図	削除 修正	「派遣した人たちの人数」「派遣した人たちの職種」「青年海外協力隊の派遣国」は一部修正し，点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	51	写真 表	削除 修正	写真を削除し，説明文のみをつけた。「１００円でできること」は一部修正し，箇条書きで記した。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。
	53	写真 図	削除 修正	写真を削除し，説明文のみをつけ た。「君が代のがくふ」はカタカナ部分のみ点訳した。「カナダの国旗」は点図化した。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	55	写真 地図 図	削除 修正 修正	「第２次世界大戦後のおもな国際紛争」の地図，「各国の国連分担金の割合」は一部修正し，点図化した。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	56	写真 地図	削除 修正	写真を削除し，説明文のみをつけ た。「新聞記事」は削除した。「日本とツバルの位置」の地図は点図化した。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	59	写真 図	削除 修正	「在日外国人の人数」「各国に対する日本の資金援助」は一部修正し，点図化した。	児童が触覚によって的確に把握できるようにした。
	60	写真	削除	写真を削除し，説明文のみをつけた。	写真については，必要に応じ指導者が説明するように配慮する。

※　「修正内容」欄、「備考」欄の中で示しているページ数は、原典教科書のページを示しています。また、盲学校教科書の中で示すことになっているページ数については、「○○ページ」と示しています。なお、ページが確定次第、数字を掲載する予定です。

年表を追加
（６年上の巻末に掲載）

【Ｐ見開き】

年　　表

　この年表は、おもに、この教科書に出ていることがらを年代順にならべたものです。社会の出来事は３マス目から、文化の出来事は９マス目から、教科書に出てくる人物は１５マス目から書いてあります。時代の変わり目に当たる出来事は、⠈⠤□⠤⠈（第１指示符）で囲んで書いてあります。

▪▪▪▪▪▪▪ 日本の国の成り立ち ▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪

□□□□７世紀ごろまで
□□□□□□　弥生時代
４世紀ごろまで
□□かりや漁のくらし（約１万年の間続く）
□□今から２３００年ほど前、米づくりが大陸から伝わる
□□□□□□□□たて穴住居、土器や鉄器・青銅器
□□小さなくにがあちらこちらにできる
□□□□□□□□□□□□□□卑弥呼
古墳時代
４世紀から７世紀ごろ
□□大和朝廷の国土統一が進む
□□□□□□□□古墳が各地につくられる
□□□□□□□□漢字が大陸から伝わる
□□□□□□□□□□□□□□ワカタケル大王
□□□□□□□□仏教が大陸から伝わる
□□聖徳太子が１７条の憲法を定める（６０４）
□□□□□□□□法隆寺を建てる（６０７）
□□□□□□□□□□□□□□聖徳太子
□□中国（隋・唐）に使いを送るようになる
□□□□□□□□□□□□□□小野妹子
□□大化の改新（６４５）
□□□□□□□□□□□□□□藤原鎌足
□□□□□□□□□□□□□□天智天皇

▪▪▪▪▪▪▪ 貴族の世の中 ▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪▪

□□□□７世紀から１２世紀
奈良時代
７１０年から７９４年
□□奈良に都を移す（７１０）
□□□□□□□□「古事記」、「日本書紀」ができる
□□□□□□□□東大寺の大仏ができる（７５２）
□□□□□□□□□□□□□□聖武天皇
□□□□□□□□□□□□□□行基
□□□□□□□□□□□□□□鑑真
□□□□□□□□□□□□□□山上憶良
平安時代
７９４年から１１９２年
□□京都に都を移す（７９４）
□□藤原氏が初めて摂政になる（８６６）
□□□□□□□□□□□□□□藤原道長
□□□□□□□□かな文字の使用が広まる
□□□□□□□□日本風の文化が育つ
□□藤原道長が摂政になる（１０１６）

□□□□□□□□「枕草子」ができる
□□□□□□□□□□□□□□清少納言
□□藤原氏が栄える
□□□□□□□□「源氏物語」ができる
□□□□□□□□□□□□□□紫式部
□□武士の力が強くなる
□□平氏が栄える
□□□□□□□□□□□□□□平清盛
□□源氏が平氏をほろぼす（１１８５）
□□□□□□□□□□□□□□源頼朝
□□□□□□□□□□□□□□源義経

武士の世の中へ

□□□□１２世紀から１６世紀

鎌倉時代

１１９２年から１３３３年
□□源頼朝が鎌倉に幕府を開く（１１９２）
□□□□□□□□□□□□□□北条政子
□□元が２度もせめてくる（１２７４、１２８１）
□□□□□□□□□□□□□□北条時頼
□□□□□□□□□□□□□□北条時宗
□□鎌倉幕府がほろびる（１３３３）

室町時代

１３３３年から１５７３年
□□□□□□（南北朝時代）
□□足利尊氏が京都に幕府を開く（１３３８）
□□南朝と北朝の対立が続く
□□□□□□□□金閣ができる（１３９７）
□□□□□□□□□□□□□□足利義満
□□農村に自治がめばえる
□□各地に大名が生まれる
□□□□□□（戦国時代）
□□応仁の乱がおこる（１４６７）
□□□□□□□□□□□□□□雪舟
□□□□□□□□銀閣ができる（１４８９）
□□□□□□□□□□□□□□足利義政

武士の世の中

□□□□１６世紀から１９世紀
□□織田信長が室町幕府をほろぼす（１５７３）
□□□□□□□□鉄砲が伝わる（１５４３）
□□□□□□□□キリスト教が伝わる（１５４９）
□□□□□□□□□□□□□□ザビエル
□□□□□□□□□□□□□□今川義元
□□□□□□□□□□□□□□織田信長
□□□□□□□□□□□□□□明智光秀
□□□□□□□□□□□□□□豊臣秀吉
□□□□□□□□□□□□□□徳川家康

安土桃山時代

１５７３年から１６０３年
□□豊臣秀吉が全国統一する（１５９０）

江戸時代

１６０３年から１８６８年
□□徳川家康が江戸に幕府を開く（１６０３）

□□参勤交代の制度が定められる（１６３５）
□□島原・天草一揆（１６３７）鎖国が完成する（１６３９）
□□□□□□□□□町人の力がのび、町人の文化が栄える
□□ききんが続き、一揆や打ちこわしが多くなる
□□ペリーが浦賀にくる（１８５３）
□□各国と通商条約を結ぶ（１８５８）
□□薩摩藩と長州藩が連合する（１８６６）
□□□□□□□□□□□□□□□□□□徳川秀忠
□□□□□□□□□□□□□□□□□□徳川家光
□□□□□□□□□□□□□□□□□□益田時貞（天草四郎）
□□□□□□□□□□□□□□□□□□シャクシャイン
□□□□□□□□□□□□□□□□□□近松門左衛門
□□□□□□□□□□□□□□□□□□前野良沢
□□□□□□□□□□□□□□□□□□本居宣長
□□□□□□□□□□□□□□□□□□杉田玄白
□□□□□□□□□□□□□□□□□□伊能忠敬
□□□□□□□□□□□□□□□□□□歌川広重
□□□□□□□□□□□□□□□□□□大塩平八郎
□□□□□□□□□□□□□□□□□□ペリー
□□□□□□□□□□□□□□□□□□勝海舟

明治からの世の中

□□□□１９世紀から２０世紀

明治時代

１８６８年から１９１２年
□□明治維新、江戸を東京とする（１８６８）
□□廃藩置県が行われる（１８７１）
□□□□□□□□□学制がしかれる（１８７２）
□□□□□□□□□「学問のすすめ」（１８７２）
□□□□□□□□□東京、横浜間に鉄道が開通する（１８７２）
□□徴兵令が出る（１８７３）、地租改正（１８７３）、西南戦争（１８７３）
□□全国の代表が国会を開くよう政府に意見書を出す（１８８０）
□□自由民権運動がさかんになる
□□大日本帝国憲法が発布される（１８８９）
□□第１回帝国議会が開かれる（１８９０）
□□イギリスとの間の条約改正に成功する（１８９４）
□□日清戦争（１８９４～９５）
□□ロシアなど三国が日本に干渉する（１８９５）
□□八幡製鉄所が仕事を始める（１９０１）
□□日露戦争（１９０４～０５）
□□重工業がしだいに発達する
□□韓国を併合する（１９１０）
□□条約改正を完全に達成する（１９１１）
□□□□□□□□□□□□□□□□□□岩倉具視
□□□□□□□□□□□□□□□□□□西郷隆盛
□□□□□□□□□□□□□□□□□□吉田松陰
□□□□□□□□□□□□□□□□□□大久保利通
□□□□□□□□□□□□□□□□□□木戸孝允
□□□□□□□□□□□□□□□□□□坂本竜馬
□□□□□□□□□□□□□□□□□□福沢諭吉
□□□□□□□□□□□□□□□□□□徳川慶喜
□□□□□□□□□□□□□□□□□□板垣退助
□□□□□□□□□□□□□□□□□□大隈重信

□□□□□□□□□□□□□□□□□高杉晋作
□□□□□□□□□□□□□□□□□伊藤博文
□□□□□□□□□□□□□□□□□明治天皇
□□□□□□□□□□□□□□□□□津田梅子
□□□□□□□□□□□□□□□□□渋沢栄一
□□□□□□□□□□□□□□□□□田中正造
□□□□□□□□□□□□□□□□□陸奥宗光
□□□□□□□□□□□□□□□□□東郷平八郎
□□□□□□□□□□□□□□□□□乃木希典
□□□□□□□□□□□□□□□□□北里柴三郎
□□□□□□□□□□□□□□□□□小村寿太郎
□□□□□□□□□□□□□□□□□夏目漱石
□□□□□□□□□□□□□□□□□正岡子規
□□□□□□□□□□□□□□□□□秋山真之
□□□□□□□□□□□□□□□□□樋口一葉
□□□□□□□□□□□□□□□□□与謝野晶子

大正時代

１９１２年から１９２６年
□□第一次世界大戦に加わる（１９１４～１８）
□□労働運動や普通選挙運動がさかんになる
□□国際連盟に加わる（１９２０）
□□普通選挙制が定められる（１９２５）
□□□□□□□□□□□□□□□□□志賀潔
□□□□□□□□□□□□□□□□□野口英世
□□□□□□□□□□□□□□□□□大原孫三郎
□□□□□□□□□□□□□□□□□平塚雷鳥
□□□□□□□□□□□□□□□□□市川房枝

昭和時代

１９２６年から１９８９年
□□世の中が不景気になる
□□満州事変（１９３１）
□□軍人が政治につよく口出しするようになる
□□国際連盟から脱退する（１９３３）
□□□□□□□□□□□□□□□□□川村カネト
□□日中戦争が始まる（１９３７）
□□第二次世界大戦（１９３９～４５）
□□ドイツ、イタリアと同盟を結ぶ（１９４０）
□□□□□□□□□□□□□□□□□杉原千畝
□□太平洋戦争（１９４１～４５）
□□広島、長崎に原子ばくだん（１９４５）
□□連合国軍に降伏する（１９４５）

戦後の新しい日本

□□□□２０世紀
□□日本国憲法が公布される（１９４６）
□□□□□□□□□６・３・３制の教育が始まる（１９４７）
□□□□□□□□□□□□□□□□□昭和天皇
□□サンフランシスコ平和条約が結ばれる（１９５１）
□□日米安全保障条約が結ばれる（１９５１）
□□ソ連と国交正常化、国際連合に加わる（１９５６）
□□技術革新がめざましく進みはじめる
□□□□□□□□□新幹線（東京、大阪間）が開通する（１９６４）
□□□□□□□□□オリンピック東京大会が開かれる（１９６４）

□□大韓民国と国交を正常化する（１９６５）
□□環境破かいが進む
□□□□□□□□□日本万国博覧会（１９７０）
□□沖縄が日本に復帰する（１９７２）
□□中華人民共和国と国交を正常化する（１９７２）
□□□□□□□□□冬季オリンピック札幌大会（１９７２）
□□中華人民共和国と平和友好条約を結ぶ（１９７８）
□□日米の貿易まさつがはげしくなる
□□アメリカとソ連が核兵器を減らす条約を結ぶ（１９８７）

平成時代

１９８９年から
□□ソ連が解体し、ロシアなど１５の国々に分かれる（１９９１）
□□日本が、子どもの権利条約を承認する（１９９４）
□□阪神・淡路大震災がおこる（１９９５）
□□□□□□□□□冬季オリンピック長野大会（１９９８）